



# Quick Guide

## Foxit PDF Reader

*For Windows*

**Microsoft® Partner**  
Gold Independent Software Vendor (ISV)

©Foxit Software Incorporated. All rights reserved.

# 目次

<b>Foxit PDF Reader を使用する</b> .....	<b>3</b>
インストールとアンインストール .....	3
ファイルを開く、閉じる、保存する .....	3
ワークエリアのカスタマイズ .....	4
ツールを見つける .....	7
<b>文書の閲覧</b> .....	<b>8</b>
指定ページへの移動 .....	8
文書の表示 .....	10
文書表示の調整 .....	12
閲覧支援 .....	12
<b>PDF ファイルの操作</b> .....	<b>12</b>
テキスト、画像、ページのコピー .....	13
定規、ガイド、線の太さ、計測 .....	13
元に戻す、やり直し .....	14
PDF のアートをくくを読む .....	14
PDF を検索する .....	14
PDF 内の 3D コンテンツの操作 .....	15
PDF に署名する .....	16
PDF ファイルの共有 .....	17
<b>注釈</b> .....	<b>18</b>
注釈ツール .....	19
スタンプツール .....	21
共有レビューと電子メールレビュー .....	22
共有 PDF でのリアルタイムコラボレーション .....	24
<b>フォーム</b> .....	<b>24</b>
PDF フォームへの入力 .....	25
フォームに注釈を追加する .....	25
フォームデータの読み込みと書き出し .....	25
2D バーコードの生成 .....	26
XFA フォームの署名の検証 .....	27
<b>その他の編集機能</b> .....	<b>27</b>
しおり .....	28
<b>印刷</b> .....	<b>29</b>
PDF 文書の印刷方法 .....	29
ページの一部を印刷する .....	30
特定のページまたはセクションを印刷する .....	30
印刷の最適化 .....	30
印刷ダイアログ .....	31
<b>お問い合わせ</b> .....	<b>32</b>

# Foxit PDF Reader を使用する

## インストールとアンインストール

Foxit PDF Reader は簡単にインストールできます。セットアップファイルをダウンロードしてダブルクリックし、表示される案内に従って手順を実行してインストールしてください。

また、Foxit PDF Reader をコマンドラインでインストールすることも可能です。詳細は、[Foxit PDF Reader のユーザーマニュアル](#) を参照してください。

Foxit PDF Reader をアンインストールするには、下記のいずれかを実行してください:

- Windows 8.1 の場合、**スタート > Foxit PDF Reader** を右クリックしてメニューより、「**アンインストール**」を選択します。
- Windows 10 の場合、**スタート > すべてのアプリ > Foxit PDF Reader > アンインストール** と選択するか、**Foxit PDF Reader** を右クリックしてメニューより「**アンインストール**」を選択します。
- **スタート > Windows システムツール > コントロールパネル > プログラム > プログラムと機能** より、Foxit PDF Reader を選択して「**アンインストール**」をクリックします (Windows 10 の場合)。
- Foxit PDF Reader のインストールフォルダーにある uninst000.exe をダブルクリックして実行します。既定では下記ディレクトリにあります:  
¥...\Foxit Software\Foxit PDF Reader\

## ファイルを開く、閉じる、保存する

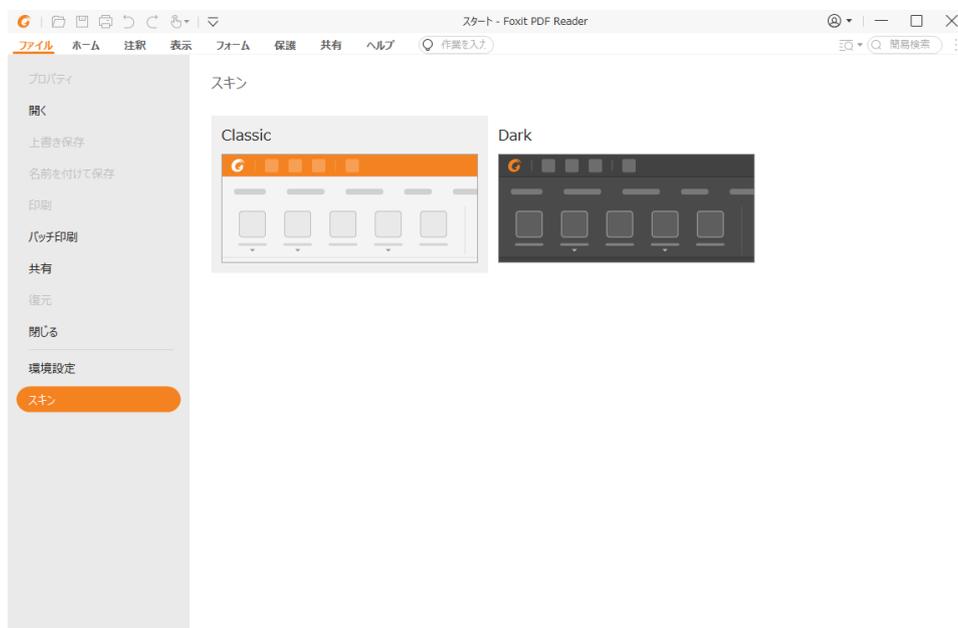
Foxit PDF Reader のアプリケーションを起動し、**ファイルタブ**の対応するオプションを選択して PDF ファイルを開く、閉じる、そして保存を実行できます。



## ワークエリアのカスタマイズ

### スキンの変更

2 種類のスキン (Classic と Dark) を選択してソフトウェアの外観を変更することができます。スキンを変更するには、**ファイル > スキン** と選択して任意のスキンを選択してください。



### タッチモードの切り替え

タッチモードは Foxit PDF Reader をタブレット PC で使いやすくする機能です。タッチ

モードにすると画面のボタンやコマンド、パネルの間隔が広がり、指で操作しやすくなります。タッチモードに切り替えるには、クイックアクセスツールバーにある  をクリックして**タッチモード**を選択してください。タッチモード中に  をクリックして**マウスモード**を選択すれば元の表示に戻すことができます。

## リボンのカスタマイズ

### リボンツールバー

Foxit PDF Reader はリボン形式のツールバーをサポートしており、アクセスしやすいようにタスク毎に異なるツールが配置されています。ホーム、注釈、表示、フォームなどのタブを参照して、必要なツールをご確認ください (下図参照)。



リボンはツールを容易に見つけられるように、そして便利に使用できるようにデザインされています。また、バージョン 7.0 から Foxit PDF Reader は、ユーザーの使い方にあわせてリボンをカスタマイズできるようになりました。この機能により、既定リボンをカスタマイズすること、そして任意のコマンドでタブやグループを設定することができます。

リボンをカスタマイズするには、リボンを右クリックしてメニューより **リボンのカスタマイズ** を選択し、**ツールをカスタマイズ** ダイアログを表示します。ダイアログでは、以下について実行することができます。

### 新しいタブを作成

新しいタブを作成するには下記のいずれかを実行します:

- 新しいタブを追加する場所のひとつ前のタブを選択して「**新しいタブ**」をクリックします。
- (別の方法) 新しいタブを追加する場所のひとつ前のタブを選択して右クリックし、ポップアップメニューより「**新しいタブ**」を選択します。

### タブに新しいグループを追加

タブに新しいグループを追加するには、以下のいずれかを選択します:

- 新しいグループを追加するタブを選択し、「**新しいグループ**」をクリックします。

- (別の方法) 新しいグループを追加するタブを選択して右クリックし、ポップアップメニューより「新しいグループ」を選択します。

### タブ、グループの名称変更

- 名称を変更するタブまたはグループを選択し、「名称を変更」をクリックします。
- (別の方法) 名称を変更するタブまたはグループを選択して右クリックし、ポップアップメニューより「名称を変更」を選択します。
- 表示されるダイアログボックスにて新しい表示名を入力し、「OK」をクリックしてください。

### グループにコマンドを追加

- コマンド(使用する機能)を追加するグループを選択します。
- 「コマンドの選択」のリストから追加するコマンドのカテゴリを選択します。
- グループに追加するコマンドを選択して「追加」をクリックします。

### タブ、グループ、コマンドの削除

タブ、グループまたはコマンドを削除するには、以下のいずれかを実行してください:

- 削除するタブ、グループまたはコマンドを選択して「削除」をクリックします。
- (別の方法) 削除するタブ、グループまたはコマンドを選択して右クリックし、ポップアップメニューより「削除」を選択します。

### タブ、グループの順序変更

タブまたはグループの順序を変更するには、以下のいずれかを実行してください:

- 順序を変更するタブまたはグループを選択して、上  または下  をクリックすることでその方向に移動します。
- (別の方法) 順序を変更するタブまたはグループを選択して右クリックし、「項目を上へ」または「項目を下へ」を選択すると、その方向に移動します。

### リボンのリセット

- ツールをカスタマイズダイアログの「リセット」をクリックすることで、リボンを初期設定にリセットすることができます。

### リボンのカスタマイズの読み込み

- 「読み込み」をクリックします。

- 開くダイアログにて、リボンのカスタマイズファイル (.xml 形式) を選択し、「開く」をクリックします。

ノート: リボンのカスタマイズファイルの読み込みを実行すると、それまでの設定がすべて失われます。読み込み前の状態に戻す必要がある場合は、カスタマイズの読み込みを行う前に、現在の設定内容を書き出して保存しておくことをお勧めします。

### リボンのカスタマイズの書き出し

- 「書き出し」をクリックします。
- 「名前を付けて保存」ダイアログにて、ファイル名と保存場所を指定して「保存」をクリックします。

ノート:

1. リボンをカスタマイズダイアログでの設定の後は、「OK」をクリックして変更を保存し反映する必要があります。
2. 既定のタブまたはグループと区別できるように、「リボンのカスタマイズ」のリスト上では、カスタムのタブまたはリボンの名称の後に「(カスタム)」と表示されます(例:  新しいタブ (カスタム) )。この「(カスタム)」はリボンには表示されません。
3. 既定のグループにあるコマンドはグレー表示されています。これらに対しては、名前の変更、順序の変更、削除を実行することはできません。
4. Foxit PDF Reader の既定のタブを削除することはできません。

## ツールを見つける

### 他のツールを確認する



リボンタブの別のツールボタンをクリックすると、使用するツールを切り替えることができます。また、各ツール上にマウスカーソルを移動すると、そのツールの説明が表示されます。例えば、ホームタブには、基本的なナビゲーションと PDF ファイルの操作に最も頻繁に使用されるツールが配置されています。手のひらツールを使用するとページ内容の表示位置を動かすことができ、テキストと画像を選択ツールを使用すると PDF のテ

キストと画像を選択することができます。注釈選択ツールは注釈オブジェクトを選択することができます。ズームツールはページ表示の拡大・縮小が可能です。画像注釈、添付ファイル、ビデオとオーディオのツールを使用して、PDF に画像やマルチメディアファイルを追加することができます。

## ツールを検索する

作業を入力フィールドにツール名や操作を入力して、簡単に該当するツールを呼び出すことができます。例えば、PDF ファイルのテキストをハイライト表示したい場合、ツール検索ボックスにカーソルを移動 (または **Alt+Q** を押下) して、「ハイライト」と入力してみてください。Foxit PDF Reader は該当するツールの候補をリスト表示しますので、選択して使いたい機能を実行できます。

## 文書の閲覧

ワークスペースやツールの設定に応じて、お好みの環境で PDF を閲覧することができます。また、簡単に指定のページに移動したり、文書の表示を調整したりすることも可能です。テキストビューワー機能を使用してテキストのみ表示させることや、表示中の文書を音声で読み上げること、PDF をリフロー表示してテキストを 1 行ずつ表示させることなどもできます。また、Foxit PDF Reader で PDF ポートフォリオを閲覧することも可能です。

## 指定ページへの移動

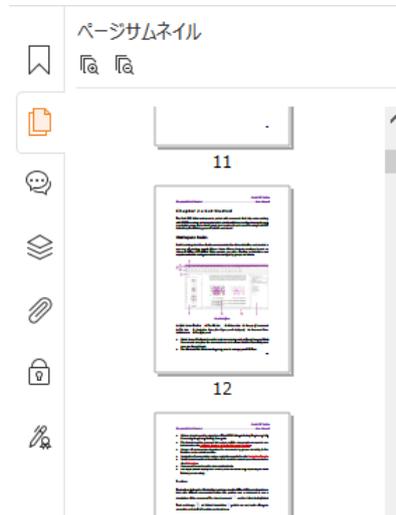
- ステータスバーにある「最初のページ」、「最後のページ」、「前のページ」、「次のページ」をクリックして PDF ページを移動します。また、ページ番号を入力して指定のページに移動することも可能です。「前の画面」をクリックすると前に表示した画面に、「次の画面」をクリックすると次に表示した画面に移動します。



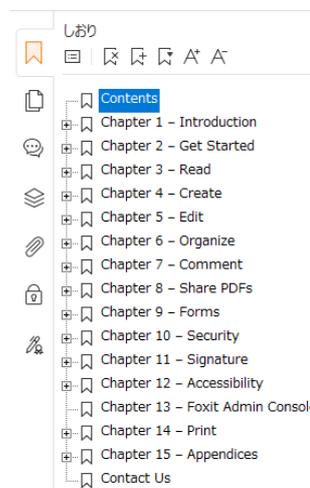
A: 最初のページ B: 前のページ C: 次のページ D: 最後のページ E: 前の画面 F: 次の画面

- ページサムネイルを使用してページ移動するには、ナビゲーションペイン左側にあるページサムネイルボタン  をクリックしてサムネイルを表示し、対象のページをクリックして移動します。サムネイル上の赤枠は現在の表示位置を示し、ドラッグすることでページ上の別の位置に移動させることができます。ページサ

サムネイルをリサイズするには、サムネイル上で右クリックして、「サムネイル画像を拡大」または「サムネイル画像を縮小」を選択するか、またはCTRL キーを押しながらマウスホイールをスクロールさせてください。



- しおりを使用して設定された場所に移動するには、ナビゲーションペイン左側にあるしおりボタン をクリックしてしおりを表示します。しおりをクリック、またはしおりを右クリックして「指定の場所へ移動」を選択することで、設定された場所に移動します。プラス(+)/ マイナス(-) ボタンをクリックすることで、しおりの階層を展開 / たたむことができます。すべてのしおりをたたむには、しおりパネルの任意のしおりを右クリック（またはオプション をクリック）して、メニューより「すべてのしおりを展開する/ 折りたたむ」を選択します。しおりパネルに展開されているしおりがない場合に「すべてのしおりを展開する/ 折りたたむ」を選択すると、すべてのしおりが展開されます。



## 文書の表示

### シングルタブおよびマルチタブでの閲覧

シングルタブモードでは、複数のウィンドウを起動して PDF ファイルを開くことを許可します。これは PDF ファイルを並べて閲覧する場合に最適です。シングルタブモードで閲覧するには、**ファイル > 環境設定 > 文書** の設定画面で、開き方の設定の「**複数ウィンドウの起動を許可**」にチェックし、「**OK**」をクリックし設定してください。

マルチタブモードは、1 つのウィンドウ内で複数の PDF ファイルを個別のタブで開きます。マルチタブモードで閲覧するには、**ファイル > 環境設定 > 文書** の設定画面で、開き方の設定の「**複数ウィンドウの起動を許可**」のチェックを外して「**OK**」をクリックしてください。マルチタブモードでは、ファイルのタブを既存のウィンドウ外にドラッグ&ドロップすると、別の独立した新しいウィンドウにして PDF ファイルを表示できます。切り離して別のウィンドウにしたタブを元に戻すには、そのタブを元のウィンドウにドラッグ&ドロップしてください。マルチタブモードでの閲覧中は、Ctrl+Tab キー、またはマウスのスクロールを使用してファイルのタブを切り替えることができます。マウスのスクロールでタブを切り替える場合、**環境設定 > 一般** の「**タブバー**」にある「**マウスホイールを使用してタブをすばやく切り替える**」のオプションを有効にしてください。

### 並列表示で複数の PDF ファイルを閲覧

並列表示の機能を使用することで、複数のウィンドウを起動せず2つ以上のPDFファイルと同じウィンドウ内（横または縦）に並べて閲覧することができます。並列表示中は、個々のPDFファイルの閲覧に加え、注釈や編集も可能です。しかしながら、閲覧モードとフルスクリーンモードの実行は、そのときアクティブになっているすべてのタブに同時に適用されます。並列表示にするには、新しいタブグループに移動させるPDF文書のタブの上で右クリックしてメニューより「**新しい横のタブグループ**」または「**新しい縦のタブグループ**」を選択してください。選択に応じて画面を横方向または縦方向に分けてファイルを並列表示します。並列表示中、通常の複数タブ表示と同じように、同じタブグループのファイルのタブを切り替えて表示することができます。Foxit PDF Readerを通常の表示に戻す場合は、残り1つになるまで他のタブをすべて閉じるか、またはアプリケーションを再起動してください。

### 表示モードの切り替え

文書の表示にあたり、テキストビューワー、閲覧モード、フルスクリーンモード、逆順に表示、リフローモードやナイトモードから表示モードを選択できます。

### テキストビューワーの使用

表示タブの「**テキストビューワー**」を使用すると、あらゆる PDF 文書をテキストのみで

表示することができます。テキストビューワーで見ることにより、画像や表の間に分散しているテキストが再利用しやすくなります。テキストビューワーの動作はメモ帳に似ていますが、ユーザーのニーズに応じた設定調整も可能です。

## リフローモードで PDF 文書を表示

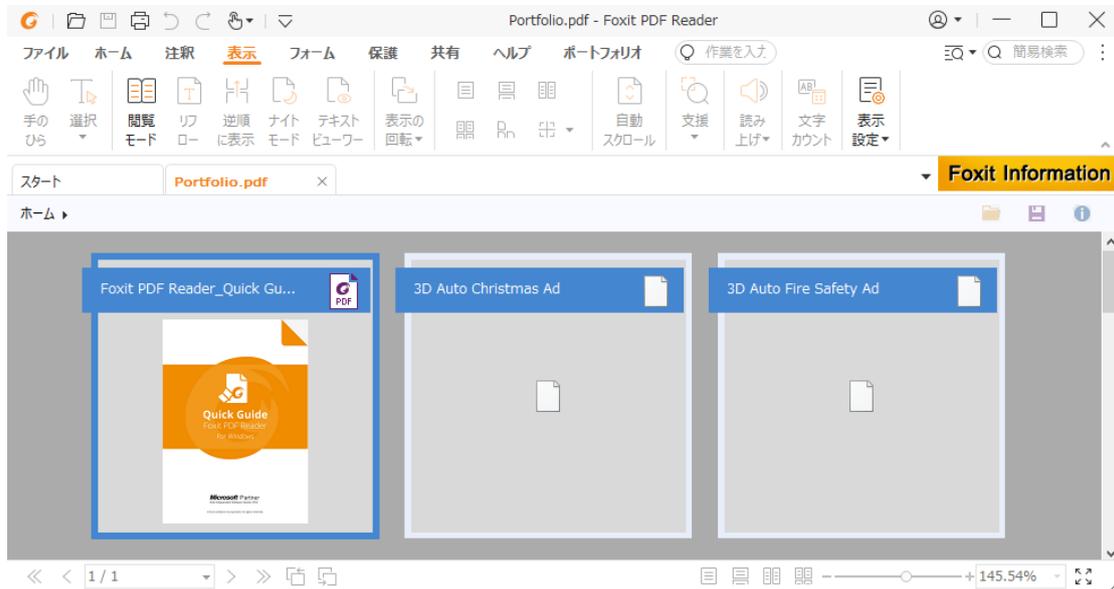
表示タブ、またはホームタブの **リフロー** をクリックして、一時的にドキュメントペインの幅に合わせてテキストを 1 行ずつ表示するリフロー表示で文書を閲覧できます。リフローモードにすることで、標準のモニターで拡大表示したときに、水平方向にテキストをスクロールさせなくても容易に PDF 文書を閲覧することができます。

## ナイトモードで PDF 文書を表示

Foxit PDF Reader のナイトモードを使用すれば、暗い場所での閲覧の際に文書の白黒を反転させて、目の負担を軽減することができます。ナイトモードのオン・オフは、**表示タブ > ナイトモード** をクリックして切り替えることができます。

## PDF ポートフォリオの閲覧

PDF ポートフォリオは Word 形式、テキスト形式、Excel 形式などの異なる形式で構成されています。Foxit PDF Reader は、PDF ポートフォリオの表示と印刷、および PDF ポートフォリオ内のテキスト検索をサポートしています。



### PDF ポートフォリオの表示例

- PDF ポートフォリオファイルを、Foxit PDF Reader で開いてください。
- 上図のようにポートフォリオに含まれる各ファイルを確認できます。
- PDF ポートフォリオのプレビュー中に、ポートフォリオタブのコマンドを使用して、表示モードを変更したり、プレビューペインの表示方法を指定したりでき

ます。レイアウトまたは詳細の表示中、ファイルをクリックして Foxit PDF Reader のプレビューペインでプレビューすることが可能です (またはファイルを選択して右クリックメニューで「元のアプリケーションでファイルを開く」か、

ポートフォリオツールバーの開くボタン  をクリックして元のアプリケーションで開くこともできます)。

- ポートフォリオに含まれる PDF 内のテキストを検索するには、検索のボタン  をクリックして表示される検索パネルで検索する語句を入力し、オプションを指定して実行できます。

## 文書表示の調整

Foxit PDF Reader は PDF 文書の表示を調整するためのツールを複数提供しています。ホームタブのズームやページ調整オプションなどの選択で、規定のレベルでページをズームしたり、ウィンドウ/ページサイズに基づいてページサイズを合わせたりできます。ページの向きの表示を調整するには、ホームまたは表示タブの表示の回転を使用します。また表示タブで、単一ページ表示/ スクロールを有効にする/ 見開きページ表示/ 見開きページでスクロール/ 見開きページ表示で表紙を表示/ 分割 を選択して表示モードを指定できます。コンテンツ上で右クリックし、ポップアップメニューからツールを選択することも可能です。

## 閲覧支援

支援機能でユーザーの PDF 閲覧をより容易に行うことができるよう補助します。支援ツールには マークズーム、ルーペツール、拡大鏡があり、PDF をより明瞭に表示することができます。また、読み上げツール  を使用すると注釈テキストや画像などの代替テキストを含む PDF コンテンツを音声で読み上げることもできます。自動スクロールツールは、文書を自動でスクロールさせることで長い PDF ファイルの閲覧を支援します。また、単一のショートカットキーでツールを選択したり、操作を実行したりすることも可能です。単一ショートカットキーの詳細は、[Foxit PDF Reader ユーザーマニュアル](#) を参照してください。

## PDF ファイルの操作

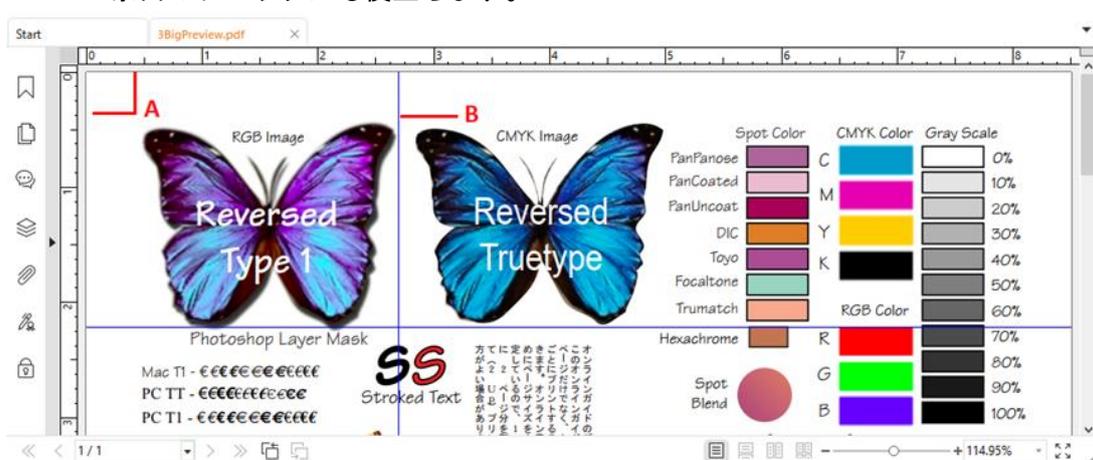
Foxit PDF Reader の機能は、ただ PDF ファイルを表示するだけではありません。テキストや画像をコピーして他のアプリケーションでの再利用、操作の元に戻す/ やり直しの実行が可能です。また、テキストやパターンの検索、インデックスの検索、PDF 文書にサインすることもできます。

## テキスト、画像、ページのコピー

- Foxit PDF Reader は、フォントの種類、スタイル、サイズ、色などフォーマットを維持して、テキストのコピーと貼り付けを行なうことができます。テキストと画像を選択ツールで選択したテキストは、以下のいずれかの方法でコピーすることができます。また、クリップボードに保存された選択テキストは他のアプリケーションに貼り付けることも可能です。
  - ◇ テキストを選択して右クリック > 「コピー」を選択します。
  - ◇ テキストを選択して、ショートカットキー Ctrl + C を押下します。
- テキストと画像を選択ツール を使用して画像を選択してコピーしたり、スナップショットツールを使用して PDF の画像やページをクリップボードにコピーしたりすることもできます。

## 定規、ガイド、線の太さ、計測

- Foxit PDF Reader は垂直方向、水平方向の **定規** および **ガイド** 機能を提供しています。表示タブから利用することができ、ページ上のテキストや画像、その他オブジェクトの整列や配置操作を支援します。オブジェクトのサイズや文書の余白のチェックにも役立ちます。



A. 定規 B. ガイド

- Foxit PDF Reader は初期設定で、図形の線の太さを指定の値で表示しますが、設定を無効にして PDF を表示することも可能です。表示タブ > 表示設定 > ページ表示 > 線の太さを表示 のチェックを外して実行できます（表示倍率と無関係に図形の線を 1 pixel で表示）。これにより、ページをより見やすく表示することができます。
- 注釈タブにある計測ツールを使用して、PDF 文書のオブジェクト間の距離や周囲の長さ、面積を計測することができます。

- Foxit PDF Reader は、計測の実行中に表示される **注釈フォーマット** タブで、各種オプション設定を行なうことができます。スケール比の調整、定規の表示/ 非表示、計測情報、および計測結果の表示設定が可能です。計測ツールを選択すると画面右側に **フォーマットパネル** が表示され、スケール比の調整や、計測結果の表示、定規の表示などを設定できます。また、オブジェクトを計測する際に **フォーマットパネル** のスナップツールを使用して、オブジェクトの特定の箇所にスナップし、より正確に計測結果を得ることができます。計測結果は書き出し機能を使用して保存することができます。



## 元に戻す、やり直し

Foxit PDF Reader は、元に戻すボタン  とやり直しボタン  を使用して、直近の動作を取り消したり、繰り返し実行したりできます。文書に対して行なった注釈や編集操作に対して、元に戻したり、やり直したりすることが可能です。

ノート: しおりの編集操作については、元に戻す/ やり直しを実行できません。

## PDF のアーティクルを読む

PDF のアーティクルは、PDF の作成者によって定義されたオプションの電子スレッドで、複数の段組みで配置されたコンテンツの経路を示したものです。場合によっては数ページにわたることもあります。アーティクルを含む PDF ファイルを閲覧している場合、**表示タブ > 表示設定 > ナビゲーションパネル > アーティクル** を選択して **アーティクルパネル** を開き、指定されているアーティクルを確認できます。アーティクルパネルでは、アーティクルを選択し、コンテキストメニューまたはオプションをクリックして「**アーティクルを読む**」を選択することで、該当のアーティクルに表示を移動できます。

## PDF を検索する

Foxit PDF Reader を使用すれば、PDF のテキストを簡単に検索することができます。 **ファイルタブ > 環境設定 > 検索** と選択して、検索の環境設定が可能です。

- 探しているテキストをすばやく見つけるには、メニューバーの簡易検索ボックス  を使用します。隣にある  をクリックして、検索条件のオプションを指定できます。
- 高度な検索を実行する場合は、簡易検索ボックスの隣にある検索ボタン  をクリックしてください。単一の PDF ファイルや、指定したフォルダー内の複数の PDF、現在アプリケーションで開いている PDF、PDF ポートフォリオ内の PDF、そして PDF インデックスから文字列やパターンを検索できます。検索が完了すると、検索結果の一覧がツリー表示され、該当箇所の前後の文脈と併せて表示されます。検索結果をクリックすれば、その場所にジャンプします。また参考資料として、検索結果を CSV または PDF ファイルに保存することもできます。
- 検索した結果を指定の色でハイライト表示するには、注釈タブ > 検索してハイライト を選択するか、または検索ボタン  をクリックして「検索してハイライト」を選択します。検索パネルで文字列やパターンを検索し、検索が完了したら、ハイライト表示する検索結果にチェックを付けてから、ハイライトアイコン  をクリックします。初期設定では、検索結果をハイライトする色は黄色が設定されています。色を変更する場合は、注釈ツールの「ハイライト表示」のプロパティの「表示方法」タブで色を設定してから、その設定を既定として設定してください。その後、新規に検索して結果をハイライト表示すると、設定が反映されます。

## PDF 内の 3D コンテンツの操作

Foxit PDF Reader は、PDF 文書内の 3D コンテンツの表示、ナビゲーション、計測、3D 注釈の追加をサポートしており、モデルツリーや 3D ツールバー、3D コンテンツの右クリックメニューを使用して 3D コンテンツを簡単に操作できます。3D モデルの一部の表示/非表示の切り替えや、様々な視覚効果の設定、3D モデルの回転・スピン・パン&ズーム、多様な設定での 3D ビューの作成と管理、3D モデルのパーツに対する注釈・計測の追加などが可能です。

3D PDF を開いて 3D モデルを有効にすると、3D キャンバス (3D モデルの表示領域) の左上に 3D ツールバーが表示されます。キャンバスの左下には、表示中の 3D モデルの現在の方向を示す 3D 軸 (X 軸、Y 軸、および Z 軸) が表示されます。ノート: PDF を開いた後に 3D モデルを有効にしていない場合、3D モデルの 2D プレビュー画像のみがキャンバスに表示されます。

ヒント: ほとんどの 3D 関連ツールとオプションは、3D モデルを右クリックしてコンテキストメニューから確認できます。

## PDF に署名する

Foxit PDF Reader を使用すれば、インクサイン機能や電子署名サービスを利用して PDF にサインしたり、署名する文書を作成して署名済み文書を受け取るワークフローを実施したりできます。また、PDF に証明書ベースの電子署名を行なうことも可能です。

## PDF サイン

PDF サインにより、独自のサイン（インクサイン）を作成してページに直接追加することができます。用途に応じて都度サインを作り直す必要はありません。入力とサインタブのツールを使用して、サインを作成し文書に追加できます。

入力とサインタブは、ホーム/ 保護タブにある入力とサインを選択することでリボンに表示されます。サインを作成するには、下記のいずれかの操作を実行します：

- 1) サインパレット内の **+** をクリックする。
- 2) サインパレット右下の **▾** をクリックして「サインを作成」を選択する。
- 3) サインの管理をクリックして表示されるダイアログで「追加」を選択する。

PDF にサインするときは、サインパレットに表示されたサインを選択して任意の場所に配置し、サインを適用します。

## 電子署名の追加

- 保護タブ > 署名と証明 > 署名を配置 を選択します。
- マウスをクリックしながらドラッグし、署名を配置する場所を指定します。
- 文書に署名ダイアログボックスが表示されますので、ドロップダウンリストからデジタル ID を選択します。使用するデジタル ID がない場合は、第三者機関の発行する証明書を入手するか、またはデジタル ID ファイルを作成します。
- （オプション）デジタル ID ファイルを作成するには、ドロップダウンリストから新規 ID を選択し、オプションを指定します。組織的な大型導入の場合、IT 管理者は SignITMgr ツールを使用して、組織内のユーザーが PDF ファイルに署名できるデジタル ID ファイルを設定することもできます。設定によって、ユーザーに新しい ID を作成できないようにし、指定されたデジタル ID のみを使用して PDF ファイルに署名させることも可能です。
- メニューより署名の表示方法を選択します。必要に応じて以下の手順を実行し、新しい署名のスタイルを作成することもできます：
  - ◇ 表示方法 のメニューから 新しいスタイルを作成 を選択します。
  - ◇ 署名の表示方法の設定ダイアログボックスが表示されます。タイトルを入力し

て、画像と署名のテキスト、ロゴの設定を行い「OK」をクリックします。

- 現在開いている PDF ファイルに署名する場合は、「署名」をクリックして署名を実行し、ファイルを保存します。複数の PDF ファイルに署名を実行する場合は「複数のファイルに適用」をクリックしてリストに PDF ファイルを追加し、必要な出力オプションを指定してから「今すぐ署名」をクリックします。

ヒント: PDF ファイルに署名する際にパスワード保護されたデジタル ID を選択した場合、署名の適用にはパスワードを入力する必要があります。

## 電子署名と文書にタイムスタンプを追加

タイムスタンプは署名した文書の日付と時刻を明示するために使用されます。公平な第三者機関により提供されるタイムスタンプを使用することで、PDF 文書がいつから存在し、その内容が現在まで変更されていないことを証明できます。Foxit PDF Reader を使用することで、電子署名や文書にタイムスタンプを追加することができます。

電子署名や文書にタイムスタンプを追加するには、既定のタイムスタンプサーバーを設定する必要があります。ファイルタブ > 環境設定 > タイムスタンプサーバー と操作して、既定のタイムスタンプサーバーを設定してください。設定後に文書に電子署名を配置するか、または 保護タブ > タイムスタンプを追加 を選択することで、文書にタイムスタンプを付与できます。タイムスタンプサーバーの証明書を信頼済み証明書に追加することで、署名のプロパティに、文書に署名したタイムスタンプサーバーの日付/時刻が表示されるようになります。

## PDF ファイルの共有

Foxit PDF Reader は ECM システムやクラウドサービス、Evernote、OneNote と連携して、PDF ファイルの管理と共有を支援します。

## ECM システムやクラウドサービスとの連携

Foxit PDF Reader は、主要な ECM システム (SharePoint など) やクラウドサービス (OneDrive – Personal、OneDrive for Business、Box、Dropbox、Google Drive など) とシームレスに連携して、アプリケーションから直接 ECM サービスやクラウドサービス内の PDF ファイルを開いて変更や保存ができます。

ECM システムやクラウドサービスから PDF ファイルを開くには、ファイル > 開く > 場所の追加 > 接続する ECM またはクラウドサービス を選択します。アカウントにサインインした後に、Foxit PDF Reader でサーバーから PDF を開いて編集することができます。また ECM システムから開くときに他のユーザーからの変更を防ぐため、チェックアウトして PDF を開

くことができ、**チェックイン**して保存し直すことも可能です。クラウドサービスから開いた PDF ファイルは編集後に、**ファイル > 上書き保存/ 名前を付けて保存** と選択して保存できます。

ヒント:

1. OneDrive for Business は MSI 版の Foxit PDF Reader のみ利用可能です。
2. Foxit PDF Reader で Epona DMSforLegal の PDF を開く場合、システムに Epona DMSforLegal クライアントを事前にインストールする必要があります。

## Evernote に送信

PDF 文書を直接、添付ファイルとして Evernote に送信することができます。

- 事前に、下記 URL にて Evernote アカウントを用意して、クライアントソフトをシステムにインストールしておく必要があります。
- PDF ファイルを開き、編集などを行ないます。
- クライアント側でサービスに接続していなければ、アカウント情報を入力してログインしてください。Evernote へのログインが完了したら、PDF 文書が自動的に Evernote に送られます。インポートされると確認メッセージが表示されます。

## OneNote に送信

Foxit PDF Reader 編集した後、PDF 文書をすばやく OneNote に送信できます。

- Foxit PDF Reader で文書を開き、必要な編集をおこないます。
- 変更を保存してから、**共有タブ > OneNote** を選択します。
- 挿入先となる OneNote のセクションまたはページを選択してから、「OK」をクリックします。
- ファイルの挿入ダイアログボックスが表示されます。**ファイルの添付**、または**印刷イメージの挿入**を選択して、OneNote の選択したセクションまたはページに文書を送ります。

## 注釈

注釈は、文書を閲覧しての勉強や仕事を行なうために欠くことのできない機能です。Foxit PDF Reader はコメントなどを追加できる様々な注釈ツールを提供しています。注釈を追加する前に、**ファイルタブ > 環境設定 > 注釈** にて注釈の環境設定を行なってください。注釈に返信したり、注釈を簡単に移動、削除したりすることも可能です。

## 注釈ツール

Foxit PDF Reader には、PDF 文書に注釈を追加する様々なツールがあり、**注釈タブ**に配置されています。これらを使用して、PDF に注釈としてテキストメッセージを入力したり、線分や円、他の図形を描画したりすることができます。さらに、これらの注釈を簡単に編集、返信、削除、移動させることも可能です。この機能は必要に応じて PDF 文書にノートコメントや注釈を書き込んで勉強や作業をするユーザーに大変有用です。



### テキストマークアップを追加

テキストマークアップを使用して、テキストの変更指示やメモを付けることができます。注釈タブにある以下のツールを使用し、マークアップするテキスト範囲をドラッグして選択します。または文書内の任意の場所をクリックして、テキストでコメントを追加します。

ボタン	ツール名	説明
	ハイライト表示	文章の重要な部分などに、主に蛍光色を使用してマークします。記憶に残りやすく、後で参照する際にも便利です。
	波線	テキストの下に波線を追加します。
	下線	重要な箇所を示すなどの用途で、下線を追加します。
	取り消し線	テキストの上に取り消し線を引き、そのテキストを削除することを他の人に知らせます。
	置換	取り消し線を引いて、置き換える内容を記述します。
	テキスト挿入	校正のマーク (^) を追加して挿入する内容があることを示します。

### ノート注釈および添付ツール

ノート注釈を追加するには、**注釈タブ > ノート** を選択します。ページ上の配置したい場所をクリックして、ボックスにコメントを入力します。

注釈としてファイルを添付する場合は下記を実行します:

- ◇ **注釈タブ > 添付** を選択します。

- ◇ ファイルを添付したい場所にポインターを移動し、その箇所をクリックします。
- ◇ **開く**ダイアログで添付するファイルを選択し、「開く」をクリックします。

ノート: 特定のファイル形式 (EXE 形式など) を添付しようとした場合は、Foxit PDF Reader はセキュリティ設定により許可しないという内容のメッセージを表示します。

- ◇ ファイルを添付した箇所には添付アイコン  が表示されます。

## テキストを追加

Foxit PDF Reader には PDF に注釈のテキストを追加するため、**タイプライター**、**テキストボックス**、**引出線付きテキスト**ツールを提供しています。**タイプライター**は、テキストボックスなしでテキストを追加するツールです。テキストボックスと引出線付きテキストは、テキストボックスにテキストを入力して注釈を追加することができます。

注釈のテキストを追加するには:

- ◇ **注釈タブ > タイプライター/ テキストボックス/ 引出線付きテキスト** を選択します。
- ◇ テキストを配置する場所にポインターを置いてクリックします。テキストを入力中、**Enter** キーで改行できます。
- ◇ 必要に応じて右側に表示されるフォーマットパネルでテキストのスタイルなど変更できます。
- ◇ 入力を終わったら、入力範囲の外側をクリックして操作を完了します。

## 描画ツール

描画ツールは線や図形の注釈を作成したり、テキスト領域に対する注釈を設定したりするツールです。描画ツールを使用すると、矢印、線、正方形、長方形、円、楕円、多角形、折れ線、雲形などの図形で文書に目印を付けることができます。

### 描画ツール

ボタン	ツール名	説明
	矢印	方向を示すシンボルを描画します。矢印のような形状です。
	線	線分を描画します。
	長方形	四角形を作成します。
	楕円形	楕円形を作成します。
	多角形	3 本以上の線分で囲まれる、閉じた図形を作成します。
	折れ線	3 本以上の線分で構成される、開いた図形を作成します。
	鉛筆	フリーハンドの線を作成します。

	消しゴム	鉛筆ツールで作成された図形を消去します。
	雲型	雲型の図形を描きます。
	エリア ハイライト	指定した領域をハイライト表示します。特定のテキスト範囲や画像、空白領域にも対応します。
	検索して ハイライト	検索結果をマークして目を引くようにしたり、後から参照できるようにしたりします。 <a href="#">PDFを検索する</a> を参照してください。

描画ツールで注釈として図形を追加するには、以下の手順を実行します：

- ◇ **注釈タブ** > 任意の描画ツールを選択します。
- ◇ マウスをドラッグして、ページの任意の領域に図形を描きます。
- ◇ マークアップした図形をダブルクリックすると、ポップアップノートが開きコメントを入力できます。

Foxit PDF Reader は特定のテキスト範囲や画像、空白領域など、指定した領域をハイライト表示することができます。

- ◇ 領域をハイライト表示するには、**注釈タブ** > **エリアハイライト** を選択し、ハイライト表示したい領域をドラッグして指定します。
- ◇ 初期設定では、黄色でハイライト表示されます。ハイライトの色を変更するには、ハイライトした領域を右クリックして、「プロパティ」を選択してください。**ハイライト表示プロパティ**ダイアログで**表示方法**タブを選択して、「色」の設定を行なうことができます。また、「その他の色」をクリックして選択エリアのハイライトの色を変更して使用できます。Foxit PDF Reader はカスタマイズ作成した色を保存し、すべての注釈ツールで共有できます。

Foxit PDF Reader のフリーハンドの注釈は、PSI に対応しています。Surface Pro ペンの入力や Wacom ペンタブレットなどから、PDF に鉛筆ツールでフリーハンドの注釈を入力できます。以下の手順を実行します：

- (Surface Pro の場合) **注釈タブ** > **鉛筆**、と選択します。Surface Pro ペンを使用してフリーハンドの線を入力します。
- (Wacom タブレットの場合) Wacom タブレットをコンピューターに接続してから、**注釈タブ** > **鉛筆** と選択します。Wacom ペンを使用してフリーハンドの線を入力します。

## スタンプツール

既存スタンプのリストから選択して、またはカスタムスタンプを作成して、PDF にスタンプを追加することができます。読み込みしたスタンプや作成したスタンプは、すべてスタンプメニューとスタンプパレットに登録されます。以下の操作を実行して、スタンプを

PDF に追加します。

- 注釈タブ > **スタンプ** を選択します。
- スタンプパレットよりスタンプを選択します。パレットには「標準スタンプ」「付属スタンプ」「ダイナミックスタンプ」のカテゴリがあります。
- 注釈タブ > **作成 > クリップボード画像をスタンプとして貼り付け** を選択して、クリップボードに保存された画像をスタンプとして選択することも可能です。また、注釈タブ > **作成 > カスタムスタンプの作成** または **カスタムダイナミックスタンプの作成** を選択して、カスタムスタンプを作成することもできます。
- PDF ページ上でスタンプを追加したい場所をクリックするか、またはドラッグして長方形を描き、場所・サイズを指定すると、指定した場所に選択しているスタンプが表示されます。
- (オプション) スタンプを複数ページに同様に配置するには、スタンプを右クリックしてメニューより「**複数ページに配置**」を選択します。複数ページに配置ダイアログが表示されますので、ページ範囲を指定して「**OK**」をクリックして適用します。
- スタンプを適用した後に回転するには以下の手順を実行します:
  - ◇ スタンプをクリックして、スタンプの上方に表示されるハンドル上にカーソルを移動します。
  - ◇ カーソルの表示が回転のアイコンに変化しますので、ドラッグして任意の角度に回転します。

## 共有レビューと電子メールレビュー

Foxit PDF Reader を使用して、簡単な操作で PDF のレビューに参加、注釈を共有、レビューのトラックができます。

### 共有レビューに参加

- メールアプリケーションの添付ファイルなど、レビューの対象となる PDF を Foxit PDF Reader で開きます。
- 対象の PDF を初めて Foxit PDF Reader で開く場合は、ユーザー情報を入力する必要があります。
- PDF に必要に応じて注釈を追加します。
- 作業が完了したらメッセージバーの「**注釈を公開**」をクリック (通知が有効な場合) するか、または **共有タブ > 共有レビューの管理 > 注釈を公開** を選択して他のレビュー担当者とは注釈を共有します。
- 以下のいずれかの方法で PDF を保存します:
  - ◇ **ファイル > 名前を付けて保存** を選択し共有する PDF のコピーをローカルディスクに保存します。レビューを継続するために再度開いたり、さらにレビューを受けるため他のレビュー担当者へ送信したりすることができます。

- ◇ メッセージバーのメニューをクリックして「アーカイブコピーを保存」を選択する（通知が有効な場合）か、または、共有タブ > 共有レビューの管理 > アーカイブコピーを保存 を選択すると、以降共有レビューに使用されない PDF のコピーとして保存することができます。

Foxit PDF Reader は共有レビュー中、自動的に同期を行い、初期設定であれば5分毎に新規の注釈を確認し、更新があればタスクバーの Foxit PDF Reader アイコンを点滅して通知します。また「新しい注釈を確認」をクリック（通知が有効な場合）するか、または、共有タブ > 共有レビューの管理 > 新しい注釈を確認 を選択すると、手動で新規の注釈を更新できます。また、ファイルタブ > 環境設定 > レビュー > 新しい注釈を自動確認 にて、新しい注釈の更新間隔を指定したりすることも可能です。

### 電子メールレビューに参加

- メールクライアントで受信した PDF を開きます。
- PDF に必要な注釈を追加します。
- 作業が完了したらメッセージバーの「注釈を送信」をクリック（通知が有効な場合）するか、または、共有タブ > 電子メールレビューの管理 > 注釈を送信 を選択して、担当者に電子メールでレビューされた PDF を返信します。
- （必要な場合）ファイル > 名前を付けて保存 を選択し、ローカルに PDF のコピーを保存してください。

### レビューに再参加

- 再度レビューするために PDF を開くには、以下のいずれかの方法があります：
  - ◇ 以前レビューした PDF のコピーがローカルに保存されている場合は、直接それを開きます。
  - ◇ 共有タブ > トラッカー と選択し、レビューする PDF を右クリックしてメニューより「開く」を選択します。
  - ◇ メールソフトから該当の PDF を開きます。
- 共有レビューや電子メールによるレビューを継続する場合は、上記で指定された同様の手順を実行してください。

ノート: Foxit PDF Reader を使用して、メールソフトからレビューされた PDF を開くには、Foxit PDF Reader で操作できるよう設定されたメールソフトがインストールされている必要があります。現在、Foxit PDF Reader は Microsoft Outlook、Gmail、Windows Mail、Yahoo Mail など主要なメールクライアントと Web メールをサポートしています。Foxit PDF Reader がサポートしていないメールソフト、または Web メールを使用する場合は、まず対象の PDF をダウンロードし、ローカルに保存してから、開いてレビューしてください。



## PDF フォームへの入力

Foxit PDF Reader はインタラクティブ PDF フォーム（Acro フォームおよび [XFA フォーム](#)）と 非インタラクティブ PDF フォームの双方に対応します。インタラクティブフォームに入力するには、手のひらを使用してください。非インタラクティブフォームに対しては、**入力とサインタブ**のツールを使用してテキストや記号を入力することができます。入力とサインタブのツールで非インタラクティブな PDF フォームに入力する際は、入力したテキストや記号がフォームのサイズに合うように、ツールバーやリサイズハンドルを使用して表示を調整してください。

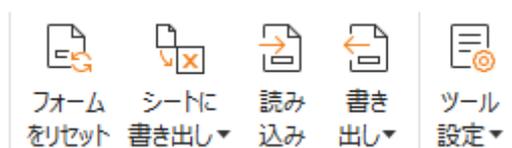
Foxit PDF Reader は PDF フォームをすばやく簡単に入力できるよう、**オートコンプリート機能**を備えています。フォームの入力履歴を保存し、次のフォーム入力の機会に履歴を参照して入力候補を提示します。入力候補はドロップダウンリストに表示されます。オートコンプリート機能を有効にするには、**ファイルタブ > 環境設定 > フォーム** と選択して、**オートコンプリートの設定**ドロップダウンリストで「**ベーシック**」または「**アドバンス**」を選択します。数値を履歴として保存する場合は「**数値データを保存**」にチェックしてください。チェックしないと、テキストだけが履歴に保存されます。

## フォームに注釈を追加する

PDF フォームの位置にも他の PDF のページと同様に、注釈を配置することが出来ます。ただし、作成者がユーザーに許可している場合に限ります。参照: [注釈](#)

## フォームデータの読み込みと書き出し

フォームタブにある **読み込み** または **書き出し** をクリックして、PDF ファイルのフォームデータの読み込み/ 書き出しを行います。しかしながら、この機能は PDF インタラクティブフォームにのみ有効です。また、Foxit PDF Reader はフォーム入力をリセットするための「**フォームをリセット**」ツールを提供しています。



フォームツール

フォームデータを書き出しするには、以下の手順を実行します:

- **フォームタブ > 書き出し > ファイル** と選択します
- **名前を付けて保存**ダイアログボックスで保存先とファイル名を指定し、「**ファイルの種類**」にて保存する形式を選択します。

- 「保存」をクリックしてファイルを保存します。

フォームデータを既存のファイルに追加するには、以下の手順を実行します：

- フォームタブ > シートに書き出し > 既存シートに追加 を選択します。
- 開くダイアログボックスで、対象の CSV ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

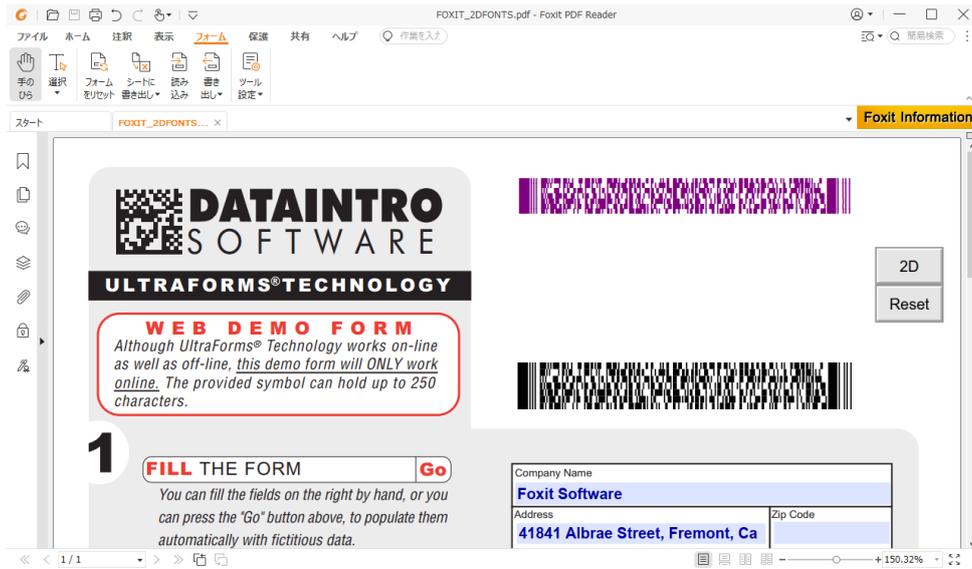
複数のフォーム内容を CSV ファイルに書き出しするには、以下の手順を実行します：

- フォームタブ > シートに書き出し > フォームを結合してシートに を選択します。
- 複数フォームをシートに書き出しダイアログボックスで「ファイルを追加」をクリックします。
- 開くダイアログボックスが表示されます。フォームデータを結合するファイルを選択して「開く」をクリックして追加します。
- また、「最近閉じたフォームを含める」にチェックして、最近開いたフォームを登録することができます。書き出ししないファイルは削除して、結合するリストからはずしてください。
- 既存のファイルにフォームデータを追加挿入する場合は、「既存のファイルに追加」にチェックしてください。
- 「書き出し」をクリックすると名前を付けて保存ダイアログボックスが表示されますので、任意の場所に CSV ファイルを保存します。

## 2D バーコードの生成

Ultraforms テクノロジーを使用して作成されたフォームに対し、Foxit PDF Reader は 2D バーコードの生成をサポートしています。情報をバーコードにすることで、フォームデータをスキャンして取り込む等、より容易にデータベースに組み込むこともできます。以下の操作で実行します：

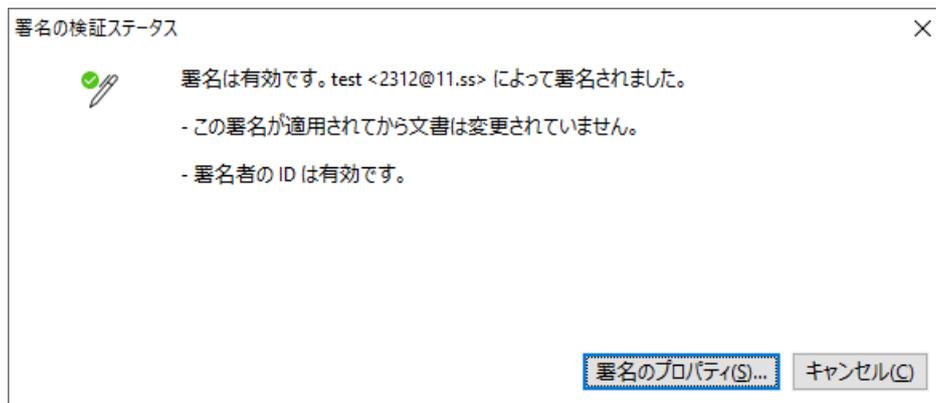
- 該当のフォームに入力します。
- 入力の完了後、バーコード生成のためのボタンが用意されていればクリックしてください。フォームファイルから 2D バーコードが生成されます。
- 画面左上の保存ボタン  などで、バーコード情報を含むファイルを保存できます。
- (必要に応じて) ファイルタブ > 印刷 にて紙面に印刷することで、スキャナーなどで読み取って利用することも可能です。



ノート: 2D バーコードを生成する手順については、Ultraforms テクノロジーを使用してそのフォームを作成した作成者の仕様に基きます。前述の、フォーム入力完了後にボタンをクリックしてバーコードが生成されるケースは、あくまで参考例の一つです。

## XFA フォームの署名の検証

Foxit PDF Reader は XFA フォームにある署名を検証することができます。PDF 上の署名をクリックするだけで、署名の検証ステータスを確認できます。また、表示されるウィンドウから署名のプロパティを参照できます。



## その他の編集機能

Foxit PDF Reader は PDF 文書に対する先進的な編集機能をいくつか備えています。しおりの作成、リンクの追加、画像注釈の挿入、マルチメディアの追加と再生などです。



## ホームタブの編集ツール

# しおり

しおりは、PDF 文書の中の繰り返し参照したい場所にマークを付けるのに非常に有効な方法です。しおりの追加、移動、削除などを行うことができます。

## しおりの追加

1. しおりからリンクしたいページを表示します。このとき、表示状態を調整することも可能です。
2. 新しいしおりを追加する位置の上のしおりを選択します。既存のしおりを選択しないで新しいしおりを追加すると、追加されたしおりはリストの最後に表示されます。
3. 下記のいずれかを実行します:
  - しおりパネル上部の **現在の表示の状態をしおりとして保存**  をクリックします。
  - 選択したしおりを右クリックしてメニューより「しおりを追加」を選択します。
  - しおりパネル上部の **オプションメニュー**  をクリックして「しおりを追加」を選択します。
4. 追加したしおりの名称を編集して、**Enter** キーを押下します。

**ヒント:** ページ上のしおりを設定したい場所で右クリックして、メニューより「しおりを追加」を選択することで、しおりを追加することもできます。この操作を実行する前に、しおりパネルで既存のしおりを選択していると、新しく追加されるしおりは、選択中のしおりの後ろに、同じ階層で自動的に配置されます。既存のしおりを選択していなかった場合、新しく追加されるしおりは既存のしおりの最後尾に配置されます。

## しおりの移動

配置を変更したいしおりを選択し、以下のいずれかの操作を行います:

- 選択したしおりのアイコンをドラッグし、移動先でドロップします。この時、表示されたライン... でしおりの移動位置を確認してください。上のしおりと同じ階層に

移動することも、上のしおりの一つ下の階層に移動することも出来ます。

- 移動させるしおりのアイコン上で右クリック（または、しおりパネル上部のオプションメニュー  をクリック）してメニューより「切り取り」を選択します。次に移動先の一つ上のしおりを右クリックしてメニューから、またはオプションメニューから「選択したしおりの後に貼り付け」を選択すると、選択したしおりと同じ階層の一つ下の場所に移動します。「選択したしおりの下に貼り付け」を選択した場合は、選択したしおりの一つ下の階層に移動します。

#### ヒント:

1. しおりを移動しても設定されたリンク先は変わりません。しおりの位置だけが移動します。
2. Shift または Ctrl キーを押しながら選択すると、複数のしおりを同時に選択して操作できます。また、Ctrl + A を押して、すべてのしおりを選択することも可能です。

## しおりの削除

しおりを削除するには、以下の操作のいずれかを実行してください:

- 削除するしおりを選択して、しおりパネル上部の **削除ボタン**  をクリックします。
- 削除するしおり上で右クリックして、メニューより「削除」を選択します。
- 削除するしおりを選択して、しおりパネル上部のオプションメニュー  をクリックし、「削除」を選択します。

#### ヒント:

1. しおりを削除すると、下位に配置されたしおりもすべて削除されます。
2. Shift または Ctrl キーを押しながら選択すると、複数のしおりを同時に選択して削除できます。また、Ctrl + A を押してすべてのしおりを選択し、一括で削除することも可能です。

# 印刷

## PDF 文書の印刷方法

1. プリンターが正常にインストールされていることを確認してください。
2. 一つのPDF文書を印刷する場合は、**ファイルタブ**から**印刷**を選択します。複数のPDF文書を一括で印刷する場合は、**ファイルタブ**から**バッチ印刷**を選択してください。
3. 出力するプリンター、印刷範囲、印刷する部数、その他のオプションを設定します。

4. 「OK」 をクリックして印刷します。

## ページの一部を印刷する

ページの一部を印刷する場合は、スナップショットを使用します。

- ホームタブ > スナップショット と操作してスナップショットツールを選択します。
- 印刷する領域をドラッグで指定します。
- 指定した領域で右クリックして、メニューより「印刷」を選択すると、印刷ダイアログが開き、選択領域の印刷を実行できます。

## 特定のページまたはセクションを印刷する

Foxit PDF Reader はしおりパネルからしおりを選択して、関連するページまたはセクションを直接印刷できます。以下の手順で実行します:

- 表示されていない場合は、表示タブ > 表示設定 > ナビゲーションパネル > しおりを選択して、しおりパネルを表示します。
- しおりパネル上でしおりをクリックして選択します。複数選択する場合は、Shift または Ctrl キーを押しながらしおりをクリックしてください。
- 対象のしおりを右クリックしてメニューより「ページを印刷」を選択すると、選択したしおりのページ（子しおりを含む）を印刷します。「セクションを印刷」を選択すると、選択したページのセクション（子しおりを含む）をすべて印刷します。
- 印刷ダイアログが表示されますので、プリンターや必要なオプションを指定し「OK」をクリックして実行してください。

ノート: しおりは階層構造で表示され、親しおりと子しおりで構成されます。親しおりについて印刷すると、その子しおりのコンテンツも同様に印刷されます。

## 印刷の最適化

適切な PCL ドライバーを使用して、PCL プリンターのフォントの置換や印刷の向きなどの処理を最適化することができます。Foxit PDF Reader は最適化のために PCL プリンターを登録して利用する機能をサポートしており、印刷速度の改善を図ることができます。この機能を有効にするには、以下の手順を実行してください:

- ファイルタブ > 印刷 を選択して印刷ダイアログを開きます。
- 印刷ダイアログの上部にある「詳細設定」をクリックします。
- 詳細設定ダイアログが表示されますので、以下の操作を実行します:
  - プリンターのリストからプリンターを選択し、「追加」をクリックして PCL ドラ

- イバーのリストに登録します。
- お使いの PCL ドライバーに合わせて最適化オプション（<PCL レベル> ドライバーを使用して<PCL レベル> プリンターを使用する）を選択します。
- 「OK」をクリックします。

上記の後、PCL ドライバーで印刷を開始できるようになります。また、印刷結果が望ましくない場合は、PCL ドライバーのリストからドライバーを削除することも可能です。その場合は、PCL ドライバーのリストから該当するドライバーを選択して「削除」をクリックして実行します。そして「OK」をクリックして操作を確定します。

ヒント： PCL 印刷の最適化を有効にするには、印刷の環境設定で「すべてのプリンターで GDI+ を使用して出力」オプションのチェックを外してください。チェックされていると環境設定が優先され、GDI++ デバイスがすべてのプリンターの印刷に使用されます。

## 印刷ダイアログ

印刷ダイアログは、文書を印刷する際の最後のステップです。印刷ダイアログでは、どのように文書を印刷使用するかを設定できます。以下の操作を実行します。

印刷ダイアログを開くには、**ファイルタブ > 印刷** と選択するか、または複数タブ表示を許可しているときに印刷する文書のタブを右クリックして、「現在のタブを印刷」を選択します。



印刷ダイアログ

## お問い合わせ

エンタープライズ用途である MSI 形式の Foxit PDF Reader は、有償の RMS Plug-in を導入することで AD RMS による PDF の暗号化、復号に対応します。組織規模でのご利用とサポートサービスについて、また RMS Plug-in のご利用につきましては、下記までご連絡ください。

ソリューションおよびシステムへの組み込み用途には、原則としてご利用いただけません。その場合には、用途に応じて Foxit PhantomPDF や PDF SDK をお奨めいたします。下記までご相談ください。

### 株式会社 FoxitJapan

〒105-0022 東京都港区海岸 1-2-3 汐留芝離宮ビルディング 21F

- **Web:**  
<https://www.foxit.co.jp/>
- **お問い合わせフォーム:**  
<https://www.foxit.co.jp/contact>